

ロシアの東方政策と 朝鮮半島問題

堀江 典生

富山大学 極東地域研究センター

本報告のねらい

- 朝鮮半島問題へのロシアの関与をロシアの東方政策の文脈から考察する。
 - 東方政策における「アジアのパートナーの多様化」というコンセプトと東方政策における北朝鮮の位置づけを考察する。
 - ロシアが朝鮮半島問題に独自の関与が可能かどうかを，専門家の見解と経済および移民統計から考察する。

依存のバランス (Soft-Balancing strategy)

中国の地経学的な指導的立場を容認しつつ中国の覇権は認めないとするロシアの大ユーラシア戦略 (Diesen 2017)

その必須条件

1) アジアのパートナーの多様化：

日本, 北朝鮮, 韓国, ASEAN

2) 中国に対してバーゲニングパワーを発揮できる制度の維持：

ユーラシア経済連合 (中国排除)

3) 中国を包摂する制度の構築：

上海協力機構および一帯一路 (中国の包摂)

中露戦略的パートナーシップをめぐる欧米研究者とロシア研究者の認識のギャップ

欧米研究者：中露関係の脆弱性，ロシアに根強い中国脅威論を強く指摘する傾向にある。

- ロシアは中国の格下のパートナーとされている。
- 経済的にロシアは中国を必要とするがその逆は必ずしもそうとは言えない。
- 呪文的中国脅威論：中国の人口圧力，資源収奪，経済格差拡大，不法移民流入

ロシアの研究者：2010年代，中露協力に前向き。中国脅威論は学術の世界ではタブー視されているとの意見も。

プーチン外交方針論文(2012)「中国経済の成長は脅威ではなく、ビジネス協力の大きな潜在力をもつ呼び水であり、『中華の風』を追い風としてロシア経済の『帆』で受けるチャンスである。」

中露交流年

- 中露建設的パートナーシップ（1994）
 - 中露戦略的パートナーシップ（1996）
 - 中露善隣友好協力条約（2001）
 - 中露国境協定（2004）
 - APECウラジオストクサミット（2012）：ロシアの東方シフト加速
 - 中国におけるロシア年（2006）・ロシアにおける中国年（2007）
 - 中国におけるロシア語年（2009）・ロシアにおける中国語年（2010）
 - 中露観光年（2012-2013）
 - 中露報道交流年（2016-2017）
 - 中露地方協力交流年（2018-2019）
-

ロシアの東方政策 (Korolev 2016)

- ✓ 制裁の影響への対応としてではなく、プーチン第2政権下のロシアの新しいグランド・ストラテジーとしての東方政策
- ✓ ロシアの多極化世界をみる視点としての東方政策
 - ロシア極東開発
 - 東アジア諸国との協力強化
- ✓ ロシアの望む状態：ロシア極東地域開発に参加するどの国も寡占的な役割を果たさない状態 = 経済パートナーの多様化

ロシアの東方政策を取り巻く環境

	対露関係	ウクライナ問題への対応
中国	戦略的パートナーシップ	制裁加不参
韓国	ユーラシア・イニシアチブ（朴政権）	制裁加不参
日本	関係正常化と経済協力拡大（安倍政権）	緩やかに制裁参加
北朝鮮	友好条約と経済関係拡大	制裁加不参

ユーラシア主義とは異なる東方政策

- ロシアの東方政策は、21世紀ロシア外交の最優先政策である (Karaganov 2012, Lavrov 2015)：現在でも安定した位置づけ
- ユーラシア主義は、旧ソ連地域の勢力圏確立であるが、東方政策は中国政策である。中国との密接な経済関係と戦略的パートナーシップを背景に大国としての力を獲得するとともに、東方政策におけるASEANとの関係は、中国との非対称的関係を相殺させるための政策である。(Dave 2016)
 - 政策目標1：アジア太平洋地域との統合を通じた極東地域開発の加速化
 - 政策目標2：中国との戦略的パートナーシップと経済パートナーの多様化を通じたロシアのアジア太平洋地域におけるプレゼンスの向上
 - 政策目標3：ベトナムやラオスを通じたASEANとの経済的・商業的・戦略的連携の強化とユーラシア経済連合や上海協力機構を通じた多国間調整の構築

近年の露朝関係に関する論調

- 朝鮮半島は、ロシアの東方政策の主要なターゲットであり、特に、プーチンの政策は、中国への依存を低減するため、韓国よりも北朝鮮との関係に重きがあったとロシアでは言われている (Rozman2017)。
- 六者協議におけるロシアの位置づけは低く、中国の北東アジアにおける覇権のなかでロシアが北朝鮮と経済交流を促進することは利点がある (Blank2017)。
- ロシアの政治エリートの間では、長期的に北朝鮮がその慢性的な経済的危機から立ち直ること、その体制が持続することを信じている者はいない。南北統一後の朝鮮半島にこそロシアは関心を持っている (Lukin2017)。

ロシアの北朝鮮問題への関与

- 2000年: ロシアー北朝鮮友好条約
- 2003年: 六者協議
- 2014年: ガルシカ極東開発省大臣, トルトネフ極東連邦管区大統領全権代表, アムール州知事, タタールスタン共和国大統領の北朝鮮訪問, および, 北朝鮮代表団のロシア訪問
- 2015年: ロシアー北朝鮮通商委員会発足, 2015年をロシアー北朝鮮友好年と宣言
 - 2020年までに両政府は貿易を10億ドルまで拡大する目標を設定。

ロシアがもつ北朝鮮関与の二枚のカード

- ロシアからの原油・燃料輸出
- 北朝鮮労働力の受け入れ（外貨獲得ビジネスとしての北朝鮮の労働力輸出）

2016年中国とロシアの北朝鮮貿易

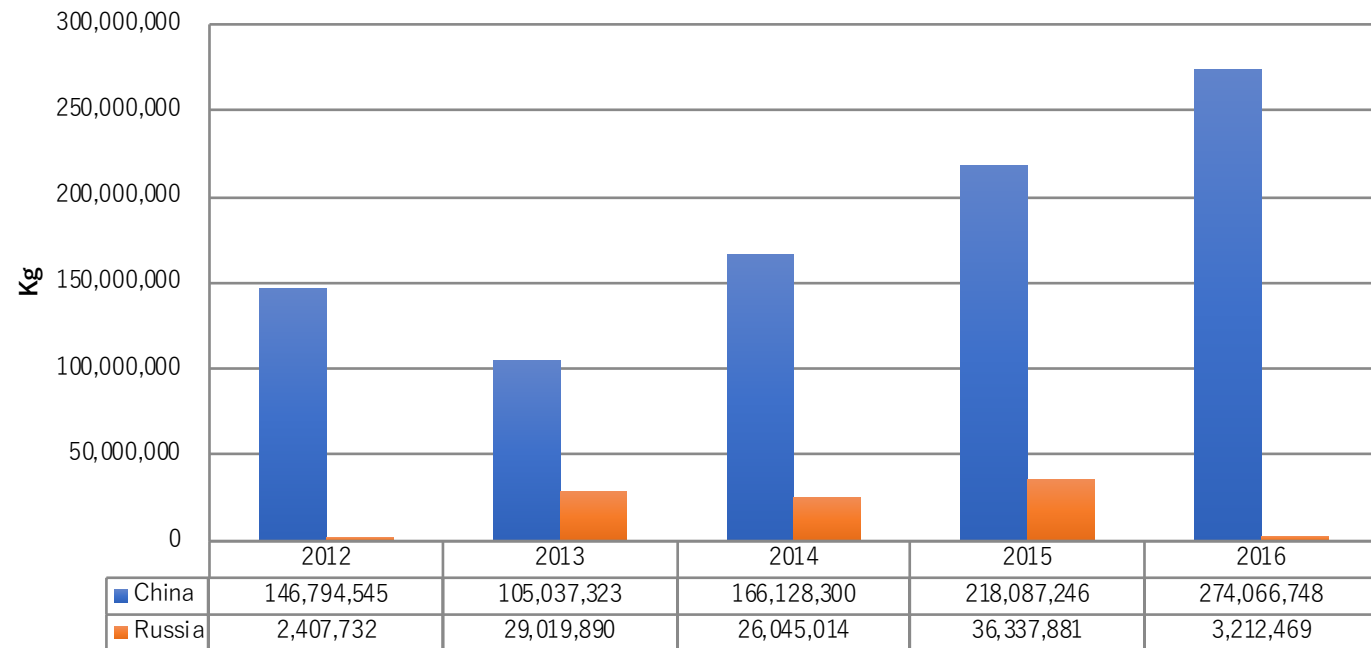
	中国	ロシア	ロシア極東
輸入 (1000\$)	2,537,314	8,796	2,931
輸出 (1000\$)	2,841,206	68,051	5,345
輸入 (%)	100	0.35	0.12
輸出 (%)	100	2.40	0.19

Source: UN Comtrade Database and the Federal Custom Service

2016年にロシアは北朝鮮に対し3200トンの原油を輸出，うち，ロシア極東地域は799トンだった。一方，中国は27万400トンを輸出。

ロシアの原油輸出が中国を迂回して輸出されており，事実上20万～30万トンの原油が北朝鮮に向けてロシアから輸出されているとの報道もある (Kyodo News, 2017)

中国およびロシアから北朝鮮への原油輸出



Comodity Code 2710: Petroleum oils and oils obtained from bituminous minerals, other than crude.
Source: UN Comtrade Database

移民労働者のプレゼンス

従業員1000人あたりの移民労働者数
(2014)

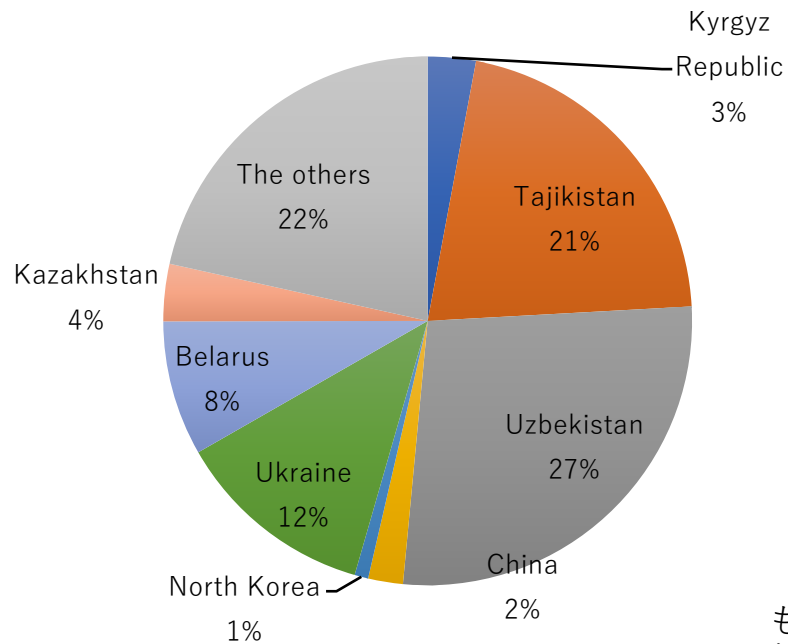
連邦構成主体	千人の雇用に占める外国人労働者数
トヴェリ州	59.6
アムール州	61.4
チュメニ州	62.5
沿海地方	64.9
ユダヤ自治州	70.3
ヤマロ・ネネツ	73.2
レニングラード州	85.5
サンクトペテルブルク	85.6
カルーガ州	101.7
サハリン州	103.8
モスクワ市	140.0
モスクワ州	142.2

- ロシア極東地域は、外国人労働者のプレゼンスの高い地域である。
- 特に、沿海地方、アムール州、ユダヤ自治州といった中国と国境を接する地域において外国人労働者のプレゼンスが高いことは、注目に値する。

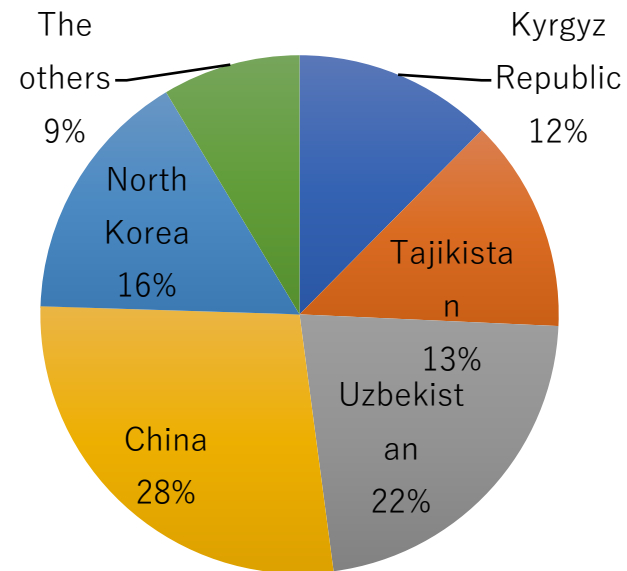
ロシア極東地域の日常生活における外国人労働者のプレゼンスの特徴

家計調査から見えてくる新発見

ロシア連邦全体



ロシア極東地域



もはや安価な労働力でない中国人
新たな労働供給源として期待された北朝鮮労働者

ロシアにおける北朝鮮労働者

- 安価な労働力として北朝鮮労働力を活用：ロシアの北朝鮮労働者の奴隷的状況は、しばしば報道されている。
- 二国間協議に基づく「外国人労働力の組織的獲得」は、ロシアの移民政策の目標であり、北朝鮮労働者の獲得はその一環である (Tkach & Brednikova 2016)。タジキスタン、キルギスタンとの労働力輸出の政府間協議と同じ。
- 北朝鮮労働者は中国人労働者やベトナム人労働者に比べ、不法移民化するリスクが少なく、北朝鮮側によりよく組織されている。問題は、ロシア人管理者が北朝鮮労働者を監督することができず、北朝鮮労働者集団の代表に依存しなければならないことである (Başyık 2012)。
- ロシア語試験導入など、2015年に導入された新たな移民規制は、北朝鮮労働者にはなんら影響を与えなかった。北朝鮮労働者は、平壤でロシア語試験を受けることができるからである。
- 北朝鮮労働者は、200ドルから3000ドルを割り当てられた仕事と第二就労で稼いでいるという (Lee Aeliah and Lee Chang-ho, 2016)。

ロシアの北朝鮮問題関与の限界

- 北朝鮮を支援もしくは制裁できるロシアのふたつのカードは、ロシアに際立った関与の機会を与えているわけではない。中国もまた、同じカードを共有し、そのカードははるかにロシアより強力である。
 - ロシアの北朝鮮への経済的関与は近年発展してきたが、両国間の貿易額、特に国境を接する両地方間の貿易額は大きいとは言えない。
 - 外貨獲得ビジネス（Foreign Currency Businesses）としてロシアへの労働力輸出は北朝鮮にとって重要なオプションであることは確かだが、中国で働く北朝鮮労働者数は、ロシアの10倍と言われており、ロシア単独での北朝鮮に影響を与えるオプションにはならない。

政策含意

- ロシアの東方政策においてアジア太平洋地域のパートナーの多角化は、ロシア重要な基礎条件となる。中国の高いプレゼンスと良好な中露関係を前提にロシアの対日政策も対北朝鮮政策も位置づけられていく。
- ロシアの北朝鮮問題への関与は、中国と差別化した政策は立てられない。北朝鮮問題へのロシアの影響力は、中国に比べ二次的であると考えられる。
- 結論：朝鮮半島問題に対してロシアがイニシアティブを発揮する余地は小さい。求められなければ関与できない状況である。朝鮮半島が安定すれば露韓関係がロシアにとって重要度が高くなる。